

将来の夢

小・6 遠山 和佳奈

私の将来の夢は通訳者になることです。通訳者になろうと思ったきっかけは、四年生のときにテレビを見ていて、外国の人と日本人が通訳者を通じて会話をしている様子を見たことです。かつこよくインタビューをしている姿を見て、日本の人が外国の人とつながるために通訳者の存在は重要なんだなと思いました。そのころから通訳者を目指すようになりたいと思いました。

そこで私は通訳者になるために、韓国語を学び始めました。韓国語の単語が書かれた本を読み続け、今は少し会話ができるほど単語を覚えました。韓国語は似たような単語があるので難しいです。だけれど最近では似たような単語がだんだん分かるようになってきました。韓国語のドラマを見ていると、少しずつ意味が分かるようになってきました。でもまだまだ会話ができるほどではないので、中学では日常会話ができるくらいまでになりたいなと思います。

韓国語を勉強しているうちに、他の国の話している言葉にも興味が出てきました。小学生のうちから世界にはどんな言語があるか知っておくといいと思い、インターネットで調べてみると、たくさん世界の言語が出てきました。まずは世界の言語のあいさつだけでも覚えようと思いました。中には難しい言語もあり、一度はあきらめかけてしまいました。しかし、あきらめたらそこで、夢への道が途絶えてしまうので、何度もくり返しあいさつを勉強しました。そ

のおかげで、今ではたくさんの国のあいさつが言えるようになったので、どんな言語が世界にあるのか知っておくのはとても大事なだと改めて思いました。

また、言語を調べているうちに、苦手なことでもあきらめずにがんばることができるようになりました。例えば、苦手な教科のテスト勉強などで分からなくなってしまったら今まではそこであきらめて終了していました。しかし、今ではあきらめず、どんなに苦手でも分かるようになるまで何度も問題を解くようになってきました。そうすると、どの教科のテストでも百点をたくさんとれるようになってきました。これからもいろいろなことをあきらめずにがんばろうと思います。

私は通訳者になるために小学校でがんばったことがたくさんあります。その経験を生かして、中学校でも言語の勉強を引き続きがんばって、通訳者になるという夢を叶えられるように努力したいと思います。